

## 白石市で想定される災害

### 【火山灰の降灰・土石流】噴火時の風向きに左右されます！

噴火によって噴き上げられた火山灰は、通常の場合、偏西風（上空に吹く強い西風）に流されて、噴火口（御釜）から東の地域（蔵王町や村田町の方向）に降り積もります。

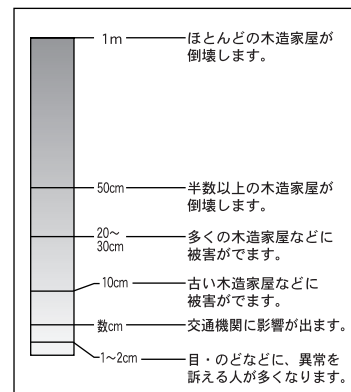
しかし、噴火時に北風が吹いている場合は、降灰方向が変わり、白石市にも降灰が予想され、降灰被害や土石流災害が想定されています。

#### ◎降灰（こうはい）

火山灰が積もると、木造家屋の被害や交通機関への影響、目・のどなどの異常といった被害があります。

#### ■降灰による被害

「降り積もった火山灰の厚さ」と「被害の目安」を表示しています。



#### ■降灰の分布予想範囲図 (1回の噴火の累積)



#### ◎降灰後の土石流

降灰後、雨が降ると火山灰が流れ出して谷の岩や土砂を巻き込み、土石流が発生すると想定されている地域は、地図で表されているとおり市内で4カ所あります。なお、白川内親・津田の白石川流域については、融雪型火山泥流の想定範囲にもなっています。

#### 土石流の想定箇所

- ◎福岡深谷の国立南蔵王青少年野営場周辺
- ◎福岡深谷即安地内周辺
- ◎福岡八宮の垂清川・児捨川流域
- ◎白川内親・津田の白石川流域（松川合流後）

#### ■避難場所一覧

土石流などの火山災害予想区域内の指定避難場所は下記のとおりです。

- ⑩福岡小 ⑪福岡中 ⑫福岡公民館 ⑬北保育園 ⑭総合福祉センター
- ⑮深谷小学校 ⑯深谷公民館 ⑰深谷保育園 ⑱深谷小三住分校

■この火山防災マップは、「いざというときのために」作成されたものです。近年の蔵王山は静穏な状態にあり、現時点ですぐに噴火が起こるような兆候はありません。

いざというときは、あわてずおちついて、气象台や報道機関、市役所などから発表される正確な情報を聞いてください。また、避難先や避難の方法は、市の広報車や警察・消防などからの指示に従ってください。

問 生活環境課 ☎ 22-1314

## 蔵王山ハザードマップ



#### ■火口位置は「御釜」と想定

蔵王山の過去2000年間の噴火活動などから、最大規模の噴火（西暦1227年）を想定し、その噴火により火山災害の及ぶ可能性のある地域を表したもので、火口位置は「御釜」を想定しています。

#### ■想定される現象

- ①噴火による御釜からの「噴石」や「火山灰」
- ②降り積もった火山灰による降雨時の「土石流」
- ③積雪時の噴火による「融雪型火山泥流」発生
- ④噴火時の「火砕流・火砕サージ」発生

#### ●噴石

激しい噴火や爆発によって岩や石が八方に飛び散ります。

#### ●融雪型火山泥流

山に雪のある時期に噴火すると、噴出物などが雪を一気にとかし、土砂や岩を巻き込み、時速40km以上の速いスピードで斜面を流れ下ります。

#### ●火砕流・火砕サージ

高温の火山灰や溶岩、火山ガスが混じりあって、火山の斜面を流れ下ることを「火砕流」といい、火砕流の周辺で吹き付ける高温ガスの熱風を「火砕サージ」といいます。

#### 有史以降の活動のほとんどは「御釜」付近で発生しています。

#### ●降灰（こうはい）

噴火によって噴き上げられた火山灰は、我が国では通常、偏西風（上空に吹く強い西風）に流されて、噴火口から東の地域に降り積もります。



▲2000年三宅島の噴火による噴煙と降灰

#### ●降灰後の土石流

火山噴火により山に火山灰が降り、積もったあとで雨が降ると火山灰が流れ出し、谷の岩や土砂を巻き込んで土石流となります。



▲1991年雲仙普賢岳で発生した土石流

「蔵王山火山防災マップ」が作成されました

いざというときのために

私たちの母なる山、蔵王。紅葉や新緑など四季折々の自然が私たちを楽しませ、豊かな水や温泉など大いなる恵みを私たちに与えてきています。

反面、蔵王山は、かつて大きな噴火を幾たびも繰り返してきた活火山であるということも忘れてはいけません。

昨年8月から、蔵王山が噴火した場合の被害想定区域などを地図で表した災害予測図（ハザードマップ）の作成を宮城県と山形県が共同で進めてきましたが、このほど完成し、白石市など関係市町村に配布されました。

市では、今後、この「蔵王山火山防災マップ」を増刷して全世帯に配布する予定ですが、今月号ではこの防災マップの概要について、白石市で想定される災害を中心に紹介します。